学術事業報告

学発番号：学13-068

研修会名：第15回京都北部CDEの会講習会

日時：平成26年3月15日(土)14:30～18:05

場所：舞鶴医療センター内地域医療研修センター

主題1：症例検討

講師1：1)平野和保(舞鶴医療センター管理栄養士)

2)真下耕治(みのり薬局薬剤師)

3)角出孝子(舞鶴赤十字病院看護師)

4)滝本寿史(綾部市立病院臨床検査技師)

主題2：最近の糖尿病治療の動向について

講師2：四方泰史(あいおい橋四方クリニック院長)

参加数：43人(会員2人、非会員41人)

報告者：滝本寿史(綾部市立病院)

以下、講演内容など

プログラム1は、職種の違う4人の演者が症例を提示し、アドバイザーである四方泰史先生を中心に症例検討会が行われました。管理栄養士の立場から「言葉と食文化の違いにより栄養食事指導に苦慮した患者さま」、薬剤師の立場から「糖尿病治療の現状」、看護師の立場から「糖尿病透析予防指導への取り組み」、臨床検査技師の立場から「特発性1型糖尿病の一例」、それぞれの立場から興味深い報告がありました。プログラム2は特別講演として、四方泰史先生の「最近の糖尿病治療の動向について」を聴講しました。主に糖尿病性神経障害についての内容でした。神経障害はいったん発症すると血糖コントロールにかかわらず回復させることが難しいが、疼痛の標準的治療により痛みをコントロールすることは可能であること、また急激な血糖低下は、症状の悪化を招くことがあり注意が必要であるという説明でした。